

南っ子の「国語」・「算数」の力と学習の様子

～『令和6年度 全国学力・学習状況調査(2024.4.18 実施) 6年生対象』の結果から～

「国語」と「算数」の学力調査が行われました。学習状況調査の結果についても紹介します。

◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ

★国語について

＜学習指導要領の内容 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の結果から＞

- ◎「読むこと」に関する内容が良好な結果でした。物語文の全体像について想像したり、登場人物の心情や人物同士の相互関係を読み取ったりする問題に対して良い傾向が見られました。
- ▲「話すこと・聞くこと」に関する内容では、相手に分かりやすく伝えるために、情報を整理したりまとめたりすることに課題が見られました。
- ▲「書くこと」に関する内容では、目的や意図に応じて情報を集め、その情報を分類したり関係付けたりすることに課題が見られました。

自分の考えを伝える際には、話の組み立てを工夫し、考えと原因・根拠を明確にしながら話すことが大切です。今後は相手や目的を意識し、適切な言葉や内容を選んだり、分類したりする活動を重視していきます。聞き手が相手の話に頷いたり、内容を想像して聞いたりなど能動的に聞くことにも取り組んでいきます。書く力を高めるためには集めた情報や内容をメモやワークシートに一度整理し、文章構成を検討する活動に取り組めます。読む力、話す力、書く力をバランスよく高めながら国語力を向上させていきます。

★算数について

＜学習指導要領の4領域（「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」）の結果から＞

- ◎「変化と関係」では、道のりと時間の関係から適切な速さを求める問題等に対して良い傾向が見られました。
- ▲「データの活用」では、表から必要な情報を読み取るような問題や、目的に合った数値を読み取り、その数値を使って計算する問題に課題が見られました。
- ▲「図形」では、角柱の底面や側面の数を言葉で説明する内容の問題に課題が見られました。

「データの活用」では、データから読み取った理由や根拠を考えたり、目的に応じて適切な情報を読み取ったりする活動を重視して取り組んでいきます。友達と協働で考察していくことで学びを広げたり深めたりすることができ、主体的な学習につなげることができそうです。

「図形」では、図形を構成する要素に着目し、図形の性質について確実に知識を獲得させることが大切です。その際には、デジタル教科書などのICT機器を活用したり具体物を使ったりするなど、場面に応じて工夫しながら学習を進めていきます。

★学習や生活について

質問に肯定的に答えている児童ほど学力調査の正答率が高くなる傾向が見られます。

＜自分自身に関すること＞

- ◎「自分には、よいところがある」と答える児童が多いです。また「友達関係に満足している」と答える児童も多いです。自己肯定感が高く、友達と良好な関係を築くことができる児童ほど、主体的な学びや協働的な学びについて肯定的に捉える傾向が伺えます。

＜家庭生活に関すること＞

- ▲「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に肯定的に答える児童が、県・国と比べてやや少ない傾向にあります。

＜学校に関すること＞

- ◎「学校に行くのが楽しい」と答えている児童が多いです。この質問にはここ数年良好な結果を維持しています。
- ◎授業の中でPC・タブレットなどのICT機器を使用することに対して、「友達と協力しながら学習を進めることができ、考えを共有したり比べたりしやすい」と肯定的に捉えている児童が多いです。
- ▲授業の中で「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」と考えている児童や、「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている」と考えている児童が少ない傾向にあります。国語だけに限らず全ての学習で自分の考えをまとめ、相手に伝える活動に対して工夫して取り組んでいく必要があると考えます。
- ▲「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」の質問に肯定的に答える児童が、やや少ない傾向にあります。昨年、児童会で学校のきまりについて話し合う機会を持ちましたが、さらに幅を広げていき、子どもたちがよりよく学べる学級づくり、主体的に成長できる学校づくりを進めていきます。

子どもたちの個性や良さを伸ばしながら、学校生活や日常生活を楽しく前向きに送ることができるよう、学校全体で取り組んでいきます。